

## 事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	地域公共交通活性化再生総合事業	コード	142107
-------	-----------------	-----	--------

2 担当部課	部等 企画政策部	課等 企画課	作成者 白上 淳
--------	----------	--------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち		
		政 策	交通網の整備	施 策	公共交通網の整備
		予算科目	企画事務費	業務委託	一部委託
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	岡谷市地域公共交通総合連携計画に基づき、市民の公共交通の確保のため、シルキーバス、ふくしーの利用効率の向上を図る。		
目的	対象者	市民	
	意 図	持続可能な公共交通の構築を目指す。	

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>4月17日 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価</p> <p>4月26日 第1回岡谷市公共交通研究プロジェクト会議</p> <p>5月10日 岡谷市公共交通活性化協議会委員委嘱（人事異動等により交代のあった4名）</p> <p>5月15日 第2回岡谷市公共交通研究プロジェクト会議</p> <p>5月16日 地域公共交通確保維持改善事業に関する個別相談会（北陸信越運輸局）</p> <p>5月23日 岡谷市公共交通研究プロジェクト委員会</p> <p>6月19日 平成25年度岡谷市地域公共交通活性化協議会開催 （H25年度路線等の見直し内容及び国への補助申請に伴う、地域内フィーダー系統に係る生活交通ネットワーク計画等に関するについて協議。）</p> <p>6月27日 長野県公共交通活性化協議会（県庁）</p> <p>6月28日 地域公共交通確保維持改善事業認定申請</p> <p>8月20日 岡谷市区長会に報告</p> <p>9月 3日 10月1日路線・時刻表の改正内容説明会（民生児童委員協議会）</p> <p>9月 4日 10月1日路線・時刻表の改正内容説明会（高齢者クラブ）</p> <p>9月17日～20日 10月1日路線・時刻表の改正内容説明会（3支所、カルチャーセンター）</p> <p>9月25日 岡谷駅前にて利用促進の街頭啓発</p> <p>10月 1日 新路線・時刻表での実証運行開始</p> <p>10月10日 岡谷駅前にて利用促進の街頭啓発</p> <p>10月15日～18日 10月1日路線・時刻表の改正内容説明会（3支所、カルチャーセンター）</p> <p>11月25日～3月28日 緊急雇用創出事業による乗降調査</p> <p>12月1日～1月31日 商業観光課職員による乗降調査</p>		
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年目の実証運行開始に際して、市内5箇所（シルキーミニバス該当地区3区含む）での説明会、各種団体への説明会を通じて、利用促進のPR及び利用者との意見交換の実施。</li> <li>・職員による乗降調査を通じ、利用者意見の把握と利用状況調査を実施。</li> </ul>		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 活動指標（指標名）	協議会開催回数			単位 回
実績値	3	1	1	
*指標の説明	協議会を開催し、連携計画の検討を重ねる。			
② 成果指標（指標名）	シルキーバスの1日あたりの利用者数			単位 人
目標値	397	400	404	408
実績値	390	392	423	
達成度	98.2%	98.0%	104.7%	
*指標の説明	シルキーバスの利用者増加			
*目標値の設定方法の説明	連携計画の目標値 26年度3%増とし、1日当たりの利用者数404人を目標とする。			

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	25,830	14,000	7,000	95,000
経常経費	25,830	14,000	7,000	95,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明	-			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	3,200,000	3,200,000	3,200,000	3,200,000
正規職員の人数(人)	0.40	0.40	0.40	0.40
③ 合計コスト(①+②)	3,225,830	3,214,000	3,207,000	3,295,000
前年度比		99.6%	99.8%	102.7%
財源内訳				
一般財源	3,225,830	3,214,000	3,207,000	3,295,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明	-			
④ 活動一単位あたりコスト	1,075,277	3,214,000	3,207,000	
前年度比		298.9%	99.8%	
⑤ コストに関する補足説明	-			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
なし	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額 0	0	0	0
	割合 0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 107.9%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 104.7%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用状況や課題、問題点等の把握および実証運行の乗降調査・分析業務の実施。</li> <li>・実証運行及び公共交通に関する利用者等からの意見把握。</li> <li>・乗車状況により、見直し及び廃止等ルール化の検討。</li> <li>・運行ダイヤの定着。</li> </ul>	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗降調査を基に、平成26年10月1日から路線等の見直し・変更を行う。</li> <li>・路線の見直し及び廃止等のルール化を図り、持続可能な公共交通の構築を目指す。</li> <li>・各区、団体等へのPR実施。</li> <li>・路線、ダイヤの見直しを最小限とし、市民への定着を図る。</li> </ul>	
	改善開始時期	平成26年4月から

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	C
-----------	--------	---	---